

「ぼうさい」のあゆみ

防災情報の共有と対策

国や自治体等の防災関係者、さらには広く国民の皆様によって愛読され、今後の防災行政の推進に大きく寄与することを目的に、「ぼうさい」は創刊されました。創刊は2001年1月。今年で20年が経ちます。

創刊当時は中央省庁の再編が進められていた時期であり、それまでの国土庁防災局が内閣府に移り、より明確な形で防災に関する施策の総合的な企画・調整にあたることとなりました。日本には地球上の活火山の7%が存在し、毎年地球上で起きる地震の10%が日本周辺で起きているとされています。また、梅雨時の集中豪雨、台風の暴風雨などにより、洪水や土砂崩れの災害が毎年各地で発生しています。このことは「ぼうさい」

創刊当時から今まで変わることなく、現在でも日本は、多くの災害が発生し、そのたびに多くの被害を受けています。

災害が起きることを防ぐことはできませんが、事前の対策や発災時の対応により、被害をできるだけ小さくすることは可能であり、重要です。また、災害が発生した後の復旧・復興も重要な課題であることは、多くの人が実感していることだと思います。「ぼうさい」は小さな広報誌ではありますが、防災に関係する多くの情報を発信する場となりました。

2011年の東日本大震災をはじめ2016年の熊本地震や令和元年東日本台風など、ここ10年においても、日本は多くの災害によって甚大な被害を経験し

てきました。今後もこのような災害が起こる可能性は否定できず、寧ろ災害は起こるものと考えする必要があります。事前に対策を行い、また適切な復興を実現できるよう準備を進めることは重要です。「ぼうさい」は、これらの対策や準備をより効果的に行うためにも、今後も皆様に有用な防災の情報をお届けし続けたいと思っています。

ぼうさい

令和3年
冬号 2021 No.100



CONTENTS

01 広報誌「ぼうさい」100号記念巻頭特集

「ぼうさい」のあゆみ
防災情報の共有と対策

03 特集

防災に関する自治体の取り組み

- ・ 現代の防災について知ろう 03
- ・ 住んでいる地域について知ろう 04
- ・ 自助・共助・公助が連携した
タイムラインに基づく実践的な桜島避難訓練 05
- ・ 災害の発生を学び、地域を知り、実践できる
子供たちを育てる。茨城県常総市における防災教育の今 07
- ・ 「おんせん県」だけじゃない! 「ぼうさい県」を目指して!
～おいた防災VR、訓練押しかけ支援隊～ 08
- ・ 地域の個性を生かし、
すべての人に防災情報を届ける 09
- ・ 「東日本大震災から10年、これからの10年」
～地域住民と地元企業によるコミュニティ防災の取組～ 10
- ・ SNSを使ったオンライン上の交流拠点
～しが防災ベース～ 11
- ・ コロナ禍だからこそ「地区防災計画」 12
- ・ 「防災ラジオ送信局の2市共同利用について」 12

13 防災の動き

- ・ 被災者生活再建支援法の改正について 13
- ・ 「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の取組み 15
- ・ デジタルを活用した効果的な防災の実現を目指して 16
- ・ 「防災推進国民大会2020」の開催報告
顕発化する大規模災害に備える
～「みんなで減災」助け合いをひろげんさい～ 17
- ・ 津波防災の日スペシャルイベント 19
- ・ 「防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策」の取組 21
- ・ あなたのまちは安全ですか? 防災移転を促進します! 23
- ・ 災害時も「困ったら一人で悩まず行政相談」 25
- ・ 災害時における通信の確保について 27

29 防災リーダーと地域の輪 第44回

- ・ 倉敷市真備町で
～コミュニティの再建と災害に強いまちづくりを目指す～
「川辺復興プロジェクトあるく」の活動